地域経済特殊研究

担当者 南方　建明

開講時期 通年　　**単　位** 4

特殊研究は1～3年次の3年間を通して行われる演習科目です。

●講義の概要

研究テーマの決定、研究計画の作成、関連する先行研究の検討を行う。その後、博士論文のフレームワークの構築、論文の構成や論理の一貫性について議論し、博士論文を執筆するための指導を行う。

●講義の到達目標

3年間での博士論文の執筆を目標として、研究テーマを決定し、研究計画を作成できるようになる。研究テーマに関連する文献や資料の読み込みと批判的検討、ヒアリング調査や現地調査などを通して、博士論文を執筆しうるだけの高度な研究能力を修得する。

●講義計画

1年目は、受講者の関心、問題意識に応じて研究領域を特定し、研究テーマの絞り込みと研究計画の作成、関連する先行研究のサーベイを行う。

2年目は、先行研究のサーベイを踏まえて、論文のフレームワークの構築、実証研究のためのデータ収集および分析、ヒアリング調査や現地調査などを行い、その成果をまとめる。

3年目は、前期は中間論文の報告を行うとともに、学会・研究会での報告、論文の執筆・投稿を行う。後期は、中間論文報告会や学会・研究会での指摘事項を踏まえた論文構成や論述内容の再吟味などを通して、博士論文の完成に向けて指導する。

●成績評価基準と方法

1年次：博士論文のテーマに関する先行研究を批判的に検討し、そのレビューレポートが論理的に書けているか（20%）。

2年次：博士論文のテーマに関するデータ収集および分析、ヒアリング調査や現地調査を行い、その成果のレポートが論理的に書けているか（30%）。

3年次：前期は中間報告を行うとともに、学会や研究会で報告し、論文の執筆・投稿を行うなど、客観的な評価を受けているか、後期は博士の学位を申請しうる論文の水準に達しているかどうかを総合的に評価する（50%）。

●テキスト又は参考文献

適宜、指示する。

●受講上の留意点

3年間で博士論文を執筆するという強い意志が求められる。関連する学会・研究会に積極的に参加し、視野を広げるとともに、研究面での刺激を受けることが必要である。